

第12回

バナナ・果物 消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2016年7月
(8月7日はバナナの日)

目次

| | |
|-------------------|---|
| 調査概要 | 2 |
|-------------------|---|

調査結果

| | |
|-------------------------------------|---|
| よく食べる果物 | 3 |
| 果物を食べる頻度 | 3 |
| バナナを食べることが多いタイミング | 4 |
| 朝食に食べるもの | 4 |
| バナナを食べる頻度 | 5 |
| この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由 | 5 |
| バナナを食べる理由 | 6 |
| 知られているバナナの栄養素 | 6 |
| 知られているバナナの効果・効能 | 7 |
| 気になるバナナの効果・効能 | 7 |
| 知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能 | 8 |
| バナナを買うときの基準 | 8 |

| | |
|-------------------|---|
| 統計資料 | 9 |
|-------------------|---|

調査概要

●調査目的

本年度12回目の調査となる『バナナ・果物消費動向調査』では、例年に引き続き、バナナの食用実態や購入実態の把握を目的とするとともに、バナナの栄養素や効果・効能に対する一般消費者の認知についても調べました。

●サマリー

バナナは12年連続よく食べる果物で1位となりました。

バナナの栄養素としては、昨年から若干順位が変動しているものの、引き続き「糖質」「食物繊維」「カリウム」などの認知度が高く、気になるバナナの効果・効能としては、「免疫力を高める」「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「豊富な食物繊維により消化を助ける」などが上位を維持しています。

●調査対象：全国16歳以上の男女

●調査時期：2016年6月28日（火）～ 2016年6月29日（水）

●調査方法：インターネット

●属性割付：

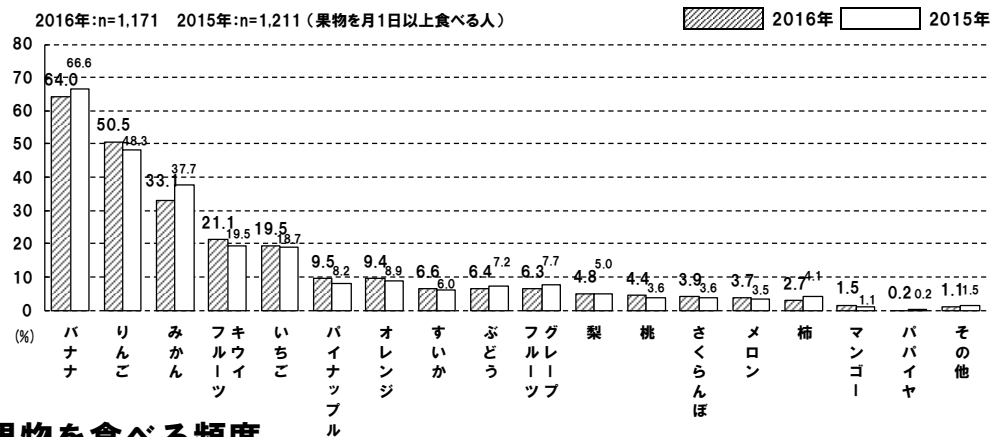
| | | 人数 |
|--------|---------|-------|
| 合計 | | 1,442 |
| 性別 | 男 | 721 |
| | 女 | 721 |
| 性別－年齢層 | 男－10代 | 103 |
| | 男－20代 | 103 |
| | 男－30代 | 103 |
| | 男－40代 | 103 |
| | 男－50代 | 103 |
| | 男－60代 | 103 |
| | 男－70歳以上 | 103 |
| | 女－10代 | 103 |
| | 女－20代 | 103 |
| | 女－30代 | 103 |
| | 女－40代 | 103 |
| | 女－50代 | 103 |
| | 女－60代 | 103 |
| | 女－70歳以上 | 103 |

よく食べる果物

「バナナ」…約64%、「りんご」…約51%、「みかん」…約33%

バナナは回答者の6割以上がよく食べる果物として挙げており、12年連続、よく食べる果物の1位です。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(複数回答/3つまで)



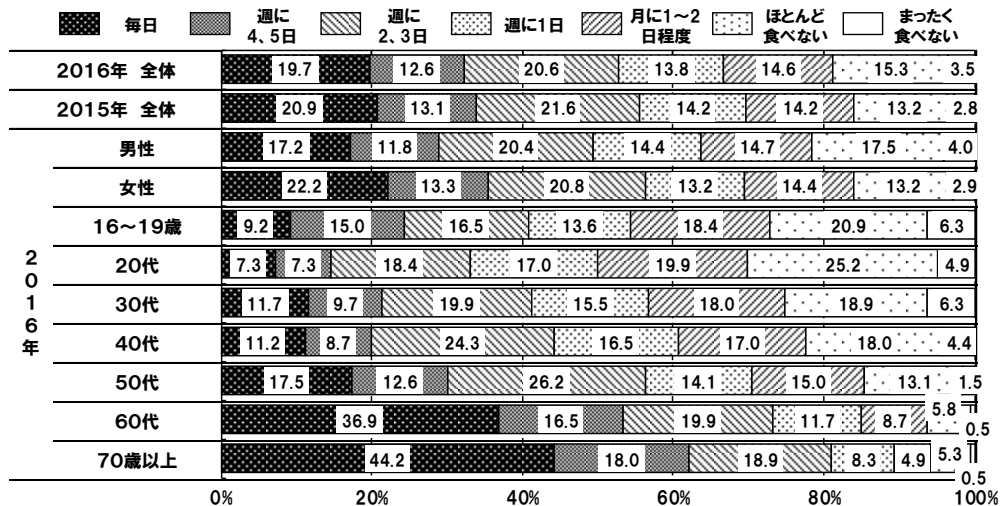
果物を食べる頻度

「毎日」が約20%、「週4、5日」が約13%で、全体の約3分の1が「週に4、5日以上」果物を食べています。

「毎日」果物を食べる人は、男性よりも女性が多く、また、年齢が高くなるほど増える傾向がみられます。

Q. あなたはどのくらいの頻度で果物を食べますか。(単一回答)

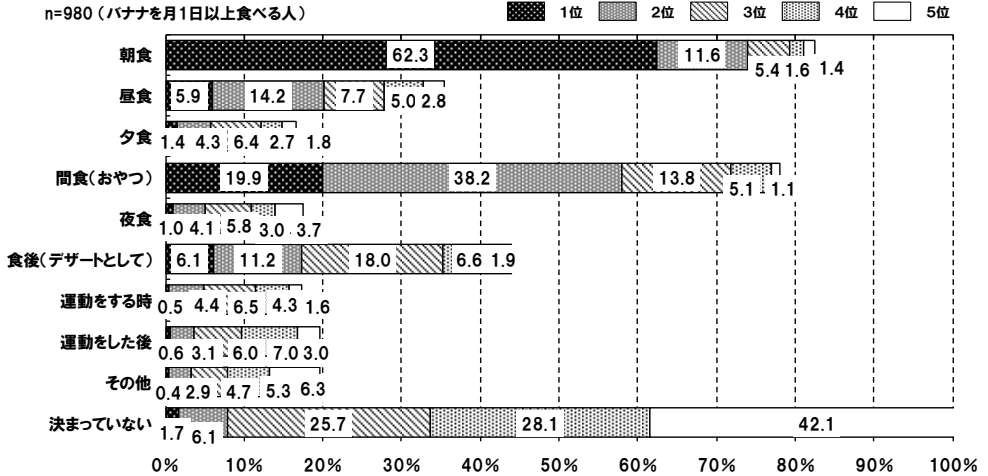
n=1,442 (全員回答)



バナナを食べることが多いタイミング

バナナを食べるタイミングの1位をみると、「朝食」が約62%と極めて高く、次いで、「間食(おやつ)」が約20%となっています。

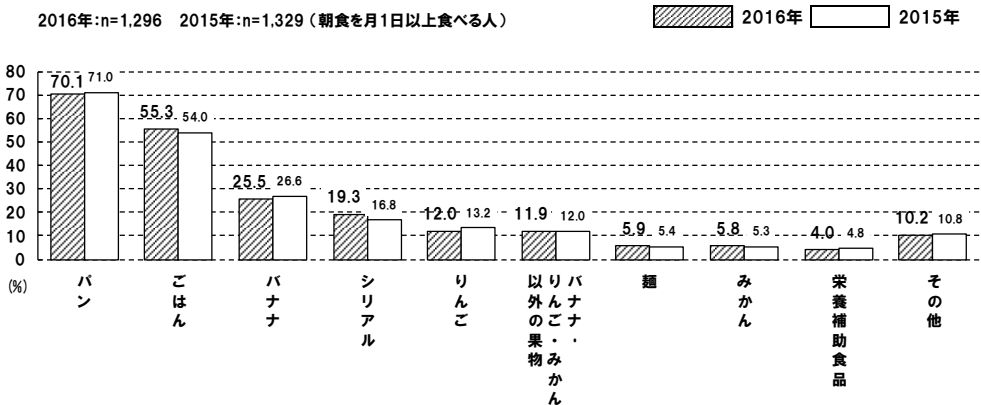
Q. あなたはバナナをいつ食べる人が多いですか。(食べる人が多い順に5位まで)(各単一回答)



朝食に食べるもの

「パン」が約70%で最も高く、以下、「ごはん」約55%、「バナナ」約26%と続いています。時系列でみると、2016年度は、2015年度と比べて「パン」「バナナ」「ごはん」の割合がほぼ横這いで推移し、「シリアル」の割合はやや増加しています。

Q. あなたは朝食にどんなものを食べますか。(複数回答)

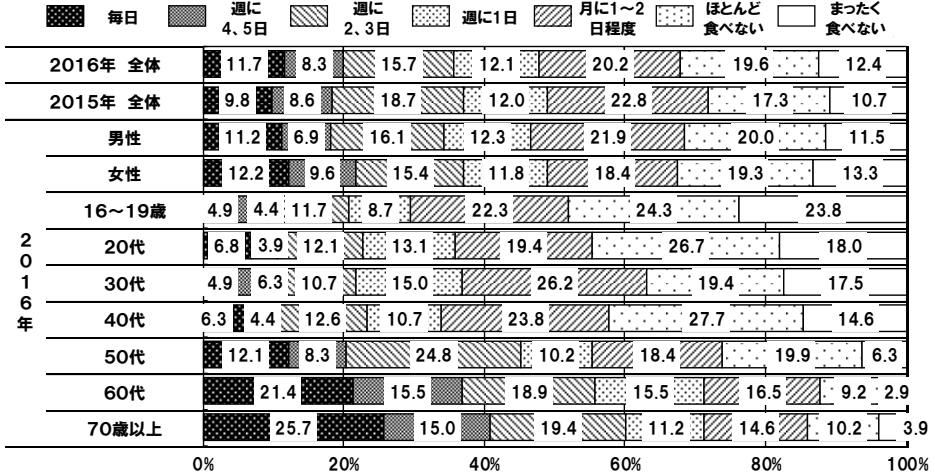


バナナを食べる頻度

「月1～2日程度」が約20%と最も多く、「ほとんど食べない」が僅差で続いています。60代以上では約7割がバナナを「週1日」以上食べていると回答しています。

Q. あなたはどのくらいの頻度でバナナを食べていますか。(単一回答)

n=1,442 (全員回答)



この1年でバナナを食べる頻度(量)が変化した理由

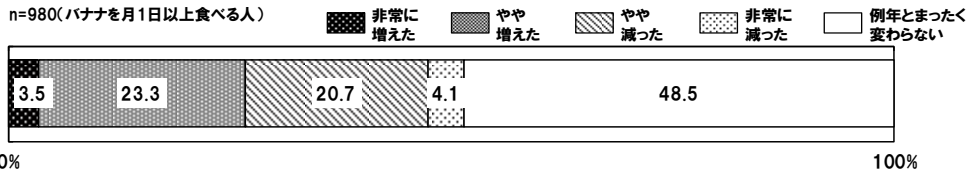
「非常に増えた」「やや増えた」をあわせて約27%、「やや減った」「非常に減った」をあわせて約25%でした。増減理由の傾向は下記の通りで、“価格が高い”ことや“他の果物の喫食”が減少の一因となっています。

Q. この一年で、あなたのバナナを食べる頻度(量)はどのように変化しましたか。(単一回答)

Q. この一年で、あなたがバナナを食べる頻度(量)が変化した理由をお書きください。(自由回答)

■ 増減

n=980(バナナを月1日以上食べる人)



■ 増減理由の傾向 (自由回答を整理)

| 非常に増えた理由(34名) | やや増えた理由(228名) | やや減った理由(203名) | 非常に減った理由(40名) |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・子供が食べるため ・栄養価が高い | <ul style="list-style-type: none"> ・価格が安い、安定している ・子供が食べるため、子供が好きなため ・健康に良い ・朝食としての喫食 | <ul style="list-style-type: none"> ・価格が高い、高騰 ・他の果物を食べるため ・飽きた ・買わなくなった | <ul style="list-style-type: none"> ・価格が高い、高騰 |

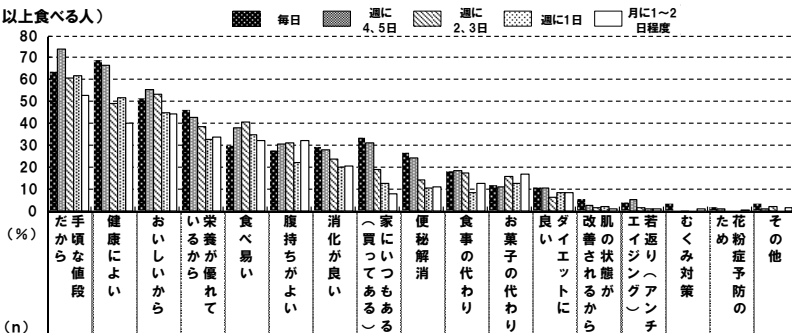
バナナを食べる理由

「手頃な値段だから」が約61%でトップ。以下、「健康によい」約52%、「おいしいから」約49%などが上位に挙げられています。

「健康によい」や「栄養が優れているから」「消化が良い」「家にいつもある」「便秘解消」などは、バナナを食べる頻度が高くなるほど増えています。

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答)

n=980(バナナを月1日以上食べる人)



| (n) | 毎日 | 週に4,5日 | 週に2,3日 | 週に1日 | 月に1~2日程度 | |
|----------------------------|----------|--------|--------|------|----------|------|
| 2016年 全体 | 980 | 60.6 | 52.3 | 49.0 | 37.9 | |
| 2015年 全体 | 1,037 | 63.7 | 52.6 | 49.0 | 44.1 | |
| 2016年 バナナを 食べる 頻度 | 毎日 | 169 | 63.3 | 68.6 | 51.5 | 46.2 |
| | 週に4,5日 | 119 | 73.9 | 66.4 | 55.5 | 42.9 |
| | 週に2,3日 | 227 | 60.8 | 48.9 | 53.3 | 38.3 |
| | 週に1日 | 174 | 61.5 | 51.7 | 44.8 | 32.8 |
| | 月に1~2日程度 | 291 | 52.9 | 40.2 | 44.0 | 33.7 |
| | | 34.7 | 29.1 | 23.4 | 26.1 | 19.3 |
| | | 23.4 | 18.4 | 15.9 | 14.4 | 14.1 |
| | | 15.7 | 14.8 | 19.7 | 7.1 | 2.9 |
| | | 8.4 | 2.0 | 1.8 | 0.9 | 0.5 |
| | | 2.0 | 1.8 | 0.9 | 0.7 | 1.4 |
| | | 2.9 | 2.1 | 0.9 | 0.7 | 1.4 |
| | | 3.6 | 3.0 | 1.8 | 3.0 | 3.0 |
| | | 5.3 | 3.6 | 3.0 | 1.8 | 3.0 |
| | | 6.2 | 1.3 | 1.3 | 0.4 | 0.0 |
| | | 1.3 | 0.4 | 0.0 | 0.0 | 0.8 |
| | | 8.0 | 1.7 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| | | 8.2 | 0.7 | 0.7 | 1.0 | 0.3 |
| | | 0.7 | 0.7 | 1.0 | 0.3 | 1.4 |

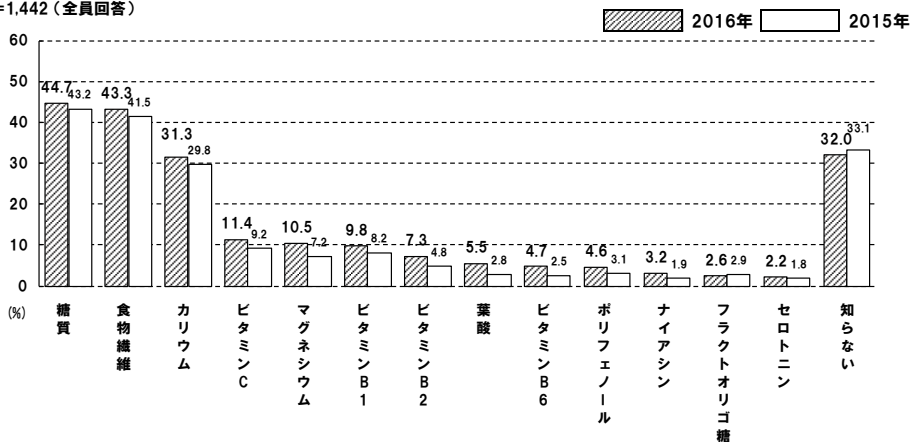
知られているバナナの栄養素

「糖質」が約45%で最も多く、次いで「食物繊維」が約43%、「カリウム」が約31%となっています。

時系列でみると、2016年度は2015年度と比べ、全体的に認知度の増加が見られます。

Q. あなたが知っているバナナの栄養素をお選びください。(複数回答)

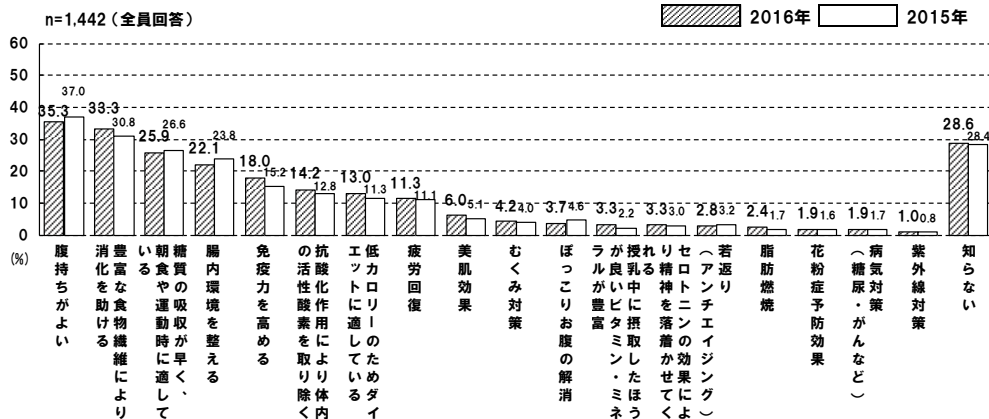
n=1,442(全員回答)



知られているバナナの効果・効能

「腹持ちがよい」約35%、「豊富な食物繊維により消化を助ける」約33%、「糖質の吸収が早く、朝食や運動時に適している」約26%、「腸内環境を整える」約22%などが上位です。その他の効果・効能はいずれも2割を下回っています。なお、「豊富な食物繊維により消化を助ける」や「免疫力を高める」「低カロリーのためダイエットに適している」などは2015年から増加が目立ちます。

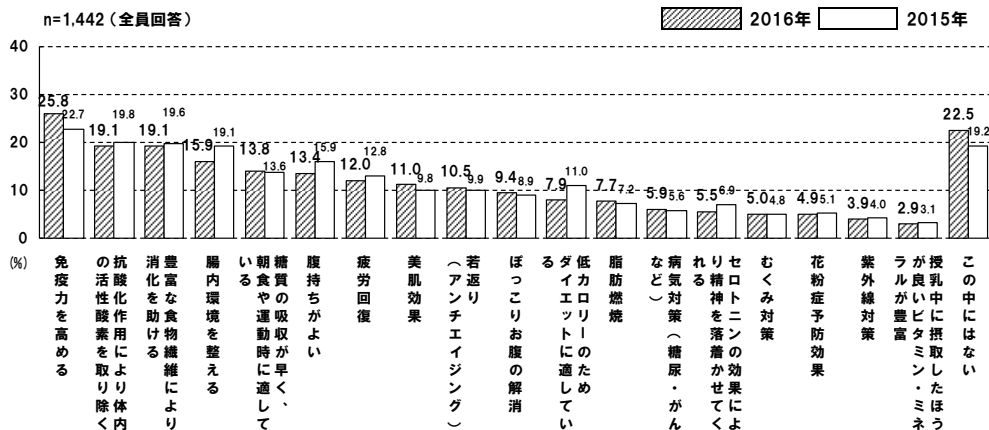
Q. あなたが知っているバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答)



気になるバナナの効果・効能

「免疫力を高める」が約26%でトップ。次いで、「抗酸化作用により体内の活性酸素を取り除く」「豊富な食物繊維により消化を助ける」がいずれも約19%で、上位に挙がっています。

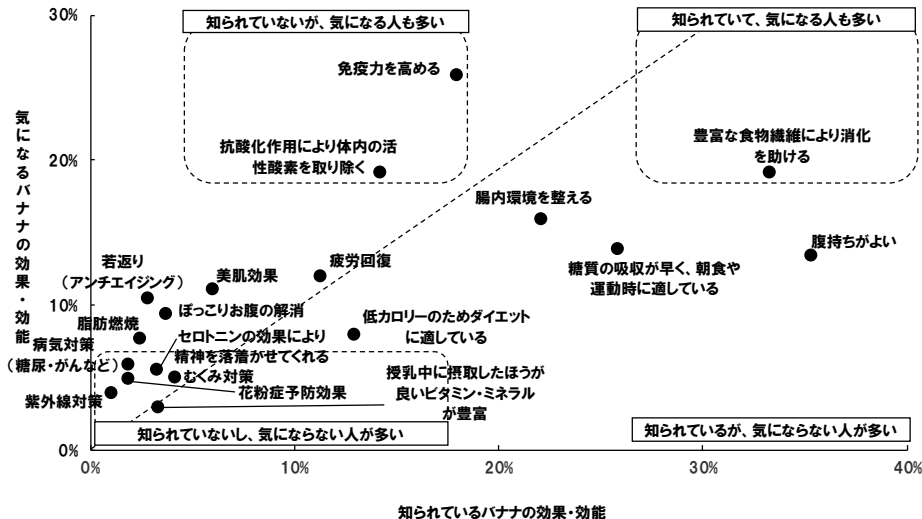
Q. 以下の中から、あなたが気になるバナナの効果・効能をお選びください。(複数回答/3つまで)



知られているバナナの効果・効能×気になるバナナの効果・効能

下の図は、バナナの効果・効能について、知られているものと気になるものの割合の関係を示したものです。

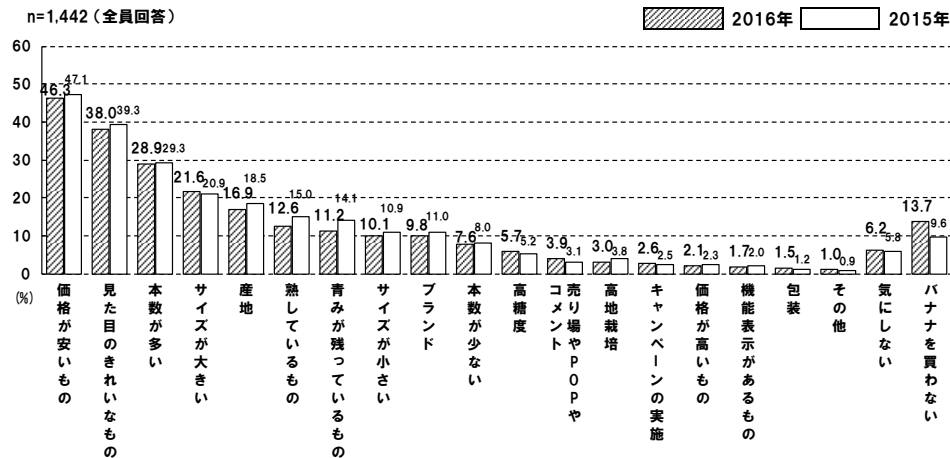
『知られていないが、気になる人が多い』効果・効能としては、「免疫力向上」「抗酸化作用」が挙げられます。



バナナを買うときの基準

「価格が安いもの」が約46%で最も高く、以下、「見た目がきれいなもの」約38%、「本数が多い」約29%、「サイズが大きい」約22%が続いています。

Q. あなたがバナナを買う時の基準をお選びください。(複数回答)

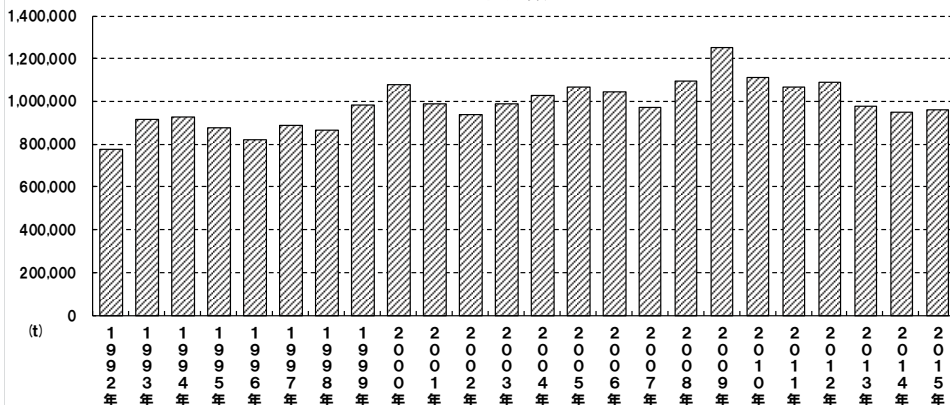


統計資料(財務省貿易統計・総務省統計局家計調査より)

財務省貿易統計

財務省貿易統計のデータによると、2015年のバナナ輸入数量は約96万トンでした。前年に比べ微増となっているものの、輸入量は3年連続100万トンを割る水準となっています。

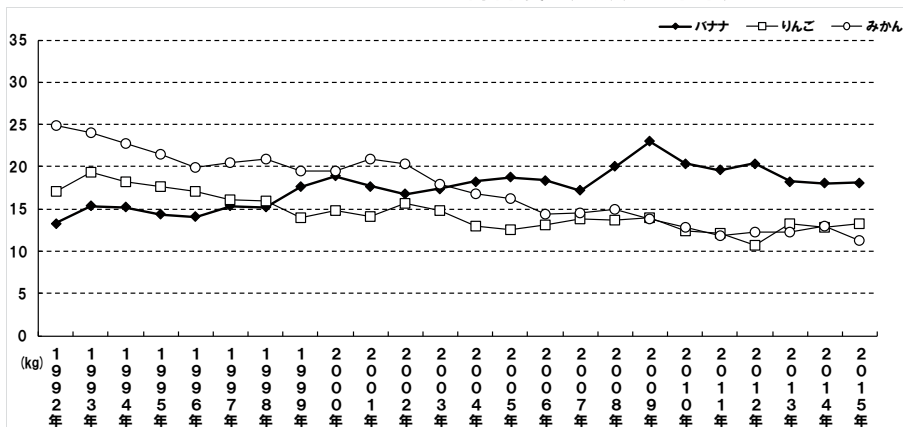
輸入数量



総務省統計局家計調査(世帯区分:2人以上の世帯)

果物の中で、バナナは年間消費量首位の座にありますが、2015年の年間消費量は約18.1kgで、2013年に20kgを下回って以降、横ばいで推移します。他の果物ではりんごは微増でしたが、みかんは減少となっています。かつては、みかんがりんごを上回っていましたが、2015年で消費量は、りんごがみかんを超えるようになりました。

バナナ・リンゴ・みかんの年間消費量(2人以上の世帯)



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

TEL03-5577-4765

受付時間 午前9時-午後4時

バナナ大学ホームページ <http://www.banana.co.jp>